

2020年5月7日

日本生殖看護学会会員各位

日本生殖看護学会理事長 上澤悦子

第18回日本生殖看護学会学術集会の中止をお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策での緊急事態宣言が、首都圏、大阪に継続されております。日本生殖医学会からも、胚や妊娠中の母児への影響を鑑み、不妊治療の自粛を要請しているなか、あらゆる立場や様々な場所での多くの苦勞の中、本日に至っております。

2020年9月13日、大阪において第18回日本生殖看護学会学術集会の開催を予定としておりましたが、多くの医学系学会の中止や開催方法の変更がされているなか、本学会理事会審議（2020.5.7）の結果、本年度は中止せざるを得ないという結論に至りました。

第18回学術集会長（府中のぞみクリニック奥島学術集会長）は、ここまで多くの準備を重ね、HPからの演題や抄録の登録も開始されておりました。演題登録をすでに済ませられた方や参加費を振り込まれた方には、心よりお詫び申し上げます。

インターネットを使用したWeb学術集会の開催も検討しましたが、初めて学術集会長をお引きいただきプライベートクリニックの奥島様と企画委員会のみで、本年度のWeb学術集会を準備することは不可能でした。そのため、今後、奥島学術集会長と共にWeb学術集会を視野にいたしての準備を進めつつ、1年延期させていただき、2021年9月の開催を予定とさせていただきたく、どうぞ、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

次年度に向けての準備のため、今年度の会費の値下げはせず、このような事態も予想しWeb学術集会も実施可能とする準備金とさせていただきたく重ねてお願い申し上げます。

また、会員の皆様への還元方法や総会審議の方法を今後、早急に理事会、委員会を中心に検討していき、皆様にお知らせしていく所存です。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上